

平成30年度第2回

幸手市総合教育会議議事録

招 集 期 日	平成31年2月12日（火）午前9時00分
開 会 場 所	幸手市役所第二庁舎 2階 第1会議室A
開 会 の 日 時	平成31年2月12日（火）午前9時00分
閉 会 の 日 時	平成31年2月12日（火）午前10時00分

出席状況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	市 長	渡 辺 邦 夫	出席	教育委員	満 木 信 吉	出席
	教 育 長	山 西 実	出席	教育委員	齊 藤 一 夫	出席
	職務代理者	尾 島 紗 緒 里	出席	教育委員	会 田 研 司	出席
	教育委員	前 田 一 郎	出席			

傍聴人：0人

書記：大竹 孝典・河口 奈緒

議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名
	教 育 部 長	小 森 谷 進		
	政 策 課 長	手 島 秀 明		
	総 務 課 長	長 田 広		
	指 導 課 長	堀 越 成 夫		
	社会教育課長	尾 崎 武		
	政策課主席主幹	藤 河 克 浩		

議 事	顛 末
<p>開 会 午前9時00分</p> <p>あいさつ</p> <p>日程第1 協議調整事項 及び報告事項 協議調整事項第2号 幸手市教育大綱の策定 について</p>	<p>教育部長 開会を宣する。</p> <p>市長 あいさつする。</p> <p>総務課長 幸手市教育大綱の策定について、資料に基づき説明する。 《意見交換》</p> <p>齊藤委員 幸手市郷土資料館の館内を見学している人が写っている 写真に差し替わって良くなった。外国語の授業の写真も 含めて、もう少し明るいといい。</p> <p>総務課長 郷土資料館は展示なので、あえて照度を落としている部 分もあると思うが、外国語の授業も含めて明るい写真が あれば差し替えを検討したい。</p> <p>満木委員 「Ⅲ 青少年の健全な育成」の主な施策に「スマホに対する 規制」と「読解力を向上させる読書の推進」を追記してい ただきたい。 新井紀子先生著の「教科書が読めない子ども達」の中で、 基礎的読解力と偏差値には極めて高い相関があり、戸田 市が採用している基礎的読解力を測定するリーディング スキルテストを実施したところ、読解の能力値が高い子 どもが優秀な大学に進学していると書かれている。 また、「国家の品格」を書かれた藤原正彦先生が、1に国 語、2に国語、3・4が無くて、5に算数とおっしゃって いるが、私は1・2に読解、3・4遊びで5に算数だと考 えている。3・4遊びについては、昔ながらの手足や体 を使った遊びを取り入れ、併せて日本の義務教育が世界に 誇る給食当番と掃除当番という優れたコミュニケーション 教育を行い、最終的には中学校の教科書を確実に読め る児童を送り出すことこそ、学校教育に求められている と思う。 読解力を向上させる読書を推進するためには、読書の時</p>

間を根こそぎ奪うスマホを規制する必要があるので、併せて追記していただきたい。

総務課長

主な施策に追記すると、総合振興計画を超える恐れがあることから、文章の中に「家庭内読書の推進やスマートフォン等の正しい使い方についての啓発を推進」という一文を入れた。

教育部長

補足説明する。

満木委員

総合振興計画を超えてはならないという縛りがあるのであれば仕方がないが、表紙に「教育のまち幸手」というスローガンを加えられないか。

私は、幸手市の施策の中で最高に成功したのは、「桜のまち幸手」というスローガンだと思っている。以前は、幸手市を知らない人が多かったが、一つのスローガンを掲げ、その実現に向けて取り組んだ結果、今では権現堂堤の桜で有名な「桜のまち幸手」と言われるようになった。

幸手市の教育が、教育長を中心とした皆さんの努力で良くなってきている今こそ、「教育のまち幸手」というスローガンを挙げることで、教職員や子ども達の推進力になると思う。市長のお考えはいかがか。

市長

良いと思う。

総務課長

表紙に入れると、幸手市が教育のまち宣言をしていると捉えられてしまう可能性があることから、大綱を総括した文章の出だしに「教育のまち幸手を目指して」という一文を入れた。

前田委員

「教育のまち幸手」という文言が急に追加されたことに対して違和感を持った。また、「教育のまち幸手」だと抽象的すぎるので、市長がマニフェストに掲げている「子育て応援日本一」の方が分かりやすいと思う。

教育部長

「子育て応援日本一」は、子育ても教育も含めて日本一を目指すといった強い意思表示だと考えている。そうした中、教育大綱は教育分野で取り組む事柄を示すものであ

ることから、「教育のまち幸手を目指して」とした。

前田委員

今日の会議が協議の場で、次回審議ということであれば、「教育のまち幸手」を入れようというコンセンサスがあると思うが、事前の協議がなく、審議の段階で急に追加されていたので言わせていただいた。

満木委員

市長の挨拶文の中でも「子育て応援と教育は密接な連携が必要である」と書かれており、先ほど市長から賛成の言葉をいただいたが、「教育のまち幸手を目指す」というスローガンはぴったり来ると思う。経験豊富な会田委員はどう思われるか。

会田委員

良し悪しは抜きにして、「教育のまち」という言葉は、他の市町村も目指している目標だと思う。

尾島職務代理者

私は、保護者の立場からすると、市長が掲げる「子育て応援日本一」の方が具体的で、より身近に感じる言葉だと思う。

齊藤委員

「子育て」と言うと、乳幼児を育てるようなイメージがあるが、ちゃんと中身を読めば「子育て応援と教育」と書かれているので、どちらも良いと思う。

教育部長

大綱の策定にあたっては、協議の場を数回設けられれば良かったが、今回は2回という制限の中で策定しなければならない。

先ほど、会田委員から「教育のまち」は他の市町村も目指している目標ではないかのご意見もいただいたところであるが、いかがか。

総務課長

素案には入っていなかった文言なので、まずは「教育のまち幸手を目指して」という文言を入れるか入れないか、また、入れるのであれば「教育のまち」とするのか、「子育て応援日本一」とするのかという議論にさせていただけるとありがたい。

前田委員

皆さんのコンセンサスがあり、今後、市長が機会あるごと

に「教育のまち幸手」と言っていただけるのであれば、この文言が入っても良い。

満木委員

一般的なプロセスからすると問題だと思うが、回数に制約がある中での審議なので、前田委員もある程度賛成していただけたと思うので、私は「教育のまち幸手を指して」を入れていただきたいと思います。

教育長

こうした議論の中で、教育で盛り上げていこうという姿勢が出てくることを嬉しく思うし、様々な部分でそういう時期に来ているのではないかと思う。

しかし、宣言という形をとった場合、首長部局との関連も出るが、その辺、政策課はどうか。

政策課長

皆様の参考になればと思うが、第5次総合振興計画の基本構想で最初に出てきた施策は、安心・安全の分野で、市民は安心・安全を重要視していた。しかし、第6次を策定するにあたり、市民検討会議で複数回議論した結果、最初に出てきたのが子育てと教育だった。

また、第5次では、子育ては福祉分野、教育を教育分野と分けていたが、第6次では、子育てと教育を合わせて一つの施策とした。これは、子育てという言葉の概念が変わってきて、就学前の子ども達だけではなく、小・中学校の子ども達も子育ての一環であり、今まで乳幼児に対する施策に重点が置かれていた部分を若干、義務教育の子ども達にも目を向けるといった審議の過程からできたと考えている。

教育長

この場で宣言することは、政策課として問題ないか。

政策課長

率直に申し上げると厳しい。市長の挨拶文の中で、子育てと教育という言葉が分かれているが、密接に関係しているものなので、表現を変えることで「教育のまち幸手」感を出せないか。

会田委員

抜いたほうが良いのではないか。

教育長

私は、入れても良いと思うが、行政上の仕組みからすると

抜くか、あるいは「魅力ある教育」など、別の言葉に置き換えるのも一つの方法だと思う。

満木委員

政治の世界は、夢を語らないといけないと私は思っている。安全策を取ることも大事だが、市長には今から「教育のまち幸手を目指す」という夢を語っていただき、その目標に向かっていくことも大事だと思う。

総務課長

満木委員から事前に大綱の表紙に入れてほしいとご提案いただいた「教育のまち幸手」という文言は、宣言に近い想いがあると感じた。

大綱は、最終的に市長が決定するものなので、プロセスやコンセンサスが取れていない文言を表紙に入れるのは難しいという判断から、大綱を総括した文章の出だしに入れたが、今までの議論を踏まえると、大綱を公開したときにこれを宣言と捉えられてしまう恐れが強いと思われるので、事務局としては、コンセンサスが取れている「子育て応援日本一」という文言に変えるか、素案のとおり削除とするかをこの場で決めていただきたい。

満木委員

総務課長のお話は理解した。それでも私は、表紙は駄目だとしても「教育のまち幸手を目指して」という一文を入れていただきたい。

会田委員

どの教育委員会も「教育のまち」を目指していると思うが、やはり文言を入れてしまうと、行政が宣言したと捉えられてしまう恐れがあると思う。市長が宣言されている「子育て応援日本一」という文言には、教育も含めた想いがあると思うので、あえて入れなくても良いと思う。

尾島職務代理者

私も会田委員の意見に賛成である。

齊藤委員

私は、「教育のまち幸手」という文言が入っても良いと思う。

前田委員

私は、市長が掲げる「子育て応援日本一」の方が、具体性があるって伝わりやすいと思うので、文言の追加は必要ないと思う。

教育部長

委員の皆様のご意見を総括すると、宣言したと捉えられる恐れがある「教育のまち幸手」より、市長が掲げる「子育て応援日本一」の方が受け入れられやすいのではないかとのことだが、市長はいかがか。

市長

様々なご意見をいただいて非常にありがたい。文言を入れるか入れないかは別として、「教育のまち幸手」というスローガンは素晴らしいと思う。今後、機会があれば「子育て応援日本一」と併せて「教育のまち幸手」を発信できればと考えている。

しかし、皆さんから出たご意見のとおり、市民の捉え方を考えると、文言を入れるのは控えたいと思う。

教育部長

それでは皆様のご意見を踏まえて、「教育のまち幸手を目指して」を「子育て応援日本一を目指して」とする。

会田委員

新学習指導要領に沿った小学校の外国語の授業は、市の取組のPRになると思うので、分かりやすい写真としていただきたい。

また、全体的に良くなったが、表紙の黄色い文字は見づらいので、見直してはどうか。

総務課長

分かりやすい写真としたい。

教育部長

表紙については、事務局一任とさせていただく。

満木委員

「幸手の教育」で、教育長の挨拶文に「知・徳・体の調和のとれた教育」と書かれているが、とても素晴らしい言葉なので、大綱案に「知・徳・体」の文言を入れていただき大変ありがたい。

教育部長

最後に市長から総括をお願いしたい。

市長

皆様からの貴重なご意見に感謝する。

最後に、以前からご提案いただいていた校務支援システムは、校務用パソコン機器等の入替に併せて、平成31年度から導入できるよう予算編成したいと思っている。

<p>日程第 2 その他</p> <p>閉 会 午前 10 時 00 分</p>	<p>また、先日の子ども議会で『幸手市「スマートフォン」わたしたちの行動宣言』が採択され、担当課から市内小・中学校へ配布したことをご報告させていただきます。</p> <p>教育長</p> <p>『幸手市「スマートフォン」わたしたちの行動宣言』の作成にあたっては、市内中学校 3 校の代表者を集めて、3 回事前の会議を設けた。また、話し合った結果を学校に持ち帰って議論を深め、さらに詰めていただいた。</p> <p>これを 1 月に開催された子ども議会へ中学生から議案提案がなされ、小学校と中学校の代表者から賛成討論があり、子ども議会全員で可決されたものである。</p> <p>現在、新入生を含めた全児童・生徒へ指導できるよう印刷を進めている。</p> <p>教育部長</p> <p>それでは、幸手市教育大綱については、本日、皆様からいただいたご意見等をもとに修正等を行い、その後、最終的に市長が決定することとなる。決定後は、速やかに市のホームページで公表してまいりたい。</p> <p>なし</p> <p>教育部長 閉会を宣す。</p>
---	--

他特に重要 と認める事項	なし
	<p>上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>平成31年 3月12日</p> <p>教育委員 齊藤一夫</p> <p>教育委員 会田研司</p>